

具体的な事故例

■品名／型式

樹脂製内開き窓(プラマードU)／PUOZ-694×906R

■事故の内容

樹脂製内開き窓が開いた状態で、窓障子に下から上方向に力を加えられたことによって、居住者が窓障子で背中を負傷され、その際に外れた窓障子でフローリングと壁にキズがつかしました。

この商品は、断熱性能・遮音性能を高めるためのリフォーム向け商品として、既存の窓の室内側で簡単に取り付け・取り外しができる仕様にするため、旗丁番が採用されています。このため、窓障子を110°以上開いた状態で、下から上方向に力が加わると、構造上外れるようになっておりますので、窓障子下方からの衝突などには十分ご注意ください。

詳しくは、ユーザーマニュアル(使い方&お手入れガイドブック プラマードU:下欄リンク)に、使用上の注意事項が記載してありますので、ご参照ください。

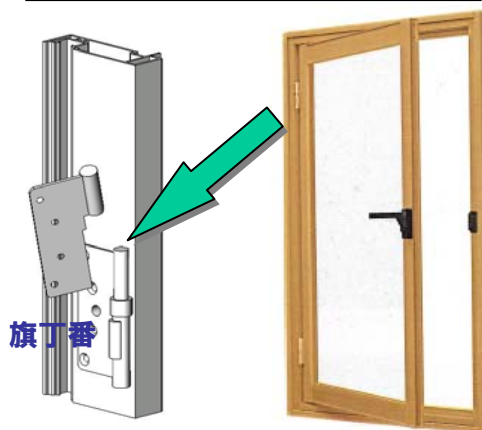
現在は、更に安全性を高めるため、90°以上障子が開かないようにアームストッパーを標準装備して、障子が外れない仕様になっております。

アームストッパーがないものをご使用のお客様には、追加設置できるアームストッパーをご用意しております(有料のお取り扱い)。

■外観図(写真等)

※消費者の方に留意していただく事項

樹脂製内開き窓(プラマードU)



従来品は、障子を110°以上開いた状態で、取り外しが可能です。



2008年 4月より
アームストッパーを標準装備といたしました。

■関係リンク

■[使い方&お手入れガイドブック プラマードU編](#) (WEB カタログ)

※アームストッパーの取り付けを希望されるお客様には、有料でお取り扱いしておりますので最寄りの販売店までお問い合わせください。